

## 作業内容へのQ&A

Q, なぜ血圧や体温の測定をするのですか

A, 治療をして、喜ばれる。それだけでも尊いことなのです。ただ、わずか数日間の滞在のボランティアであっても、医療職である以上、そこで暮らす被災者の方々の数十日、それ以上の生活を考える視野が必要です。患者がどんな訴えを持っていたか、バイタルがどんな数値であったかを、被災者の健康管理を任務とする避難所保健師さんや、その他担当部署へ報告することで、私たちは治療のみならず、長期的な健康管理にも寄与できます。血圧や体温は他の医療職との共通用語ですから、報告先を持つきっかけにもなります。

Q, なぜ報告をするのですか

A, 保健師さんと連携がとれていれば、万一、施術による事故が起こった場合や緊急の症状に出会った場合でも、速やかに医療機関へつなぐことができます。自然と担当医師にも相談しやすい環境となります。上記したように、血圧などの報告をすることで、施術にとどまらず、長期的な健康管理にも寄与できます。

また、こころのケアチームとの連携がとれていれば、明らかな精神症状など、対応に苦慮するケースに出合った場合、施術者が一人で抱え込まずに済みます。このように、被災者の方へ最善の選択肢を提供することができます。

Q, なぜカルテを書くのですか

A, 例えば咳の出る患者さんは多いですが、発症後2~3日なのか、2週間以上続いているのかで対応は異なります（2週間を越える咳は肺結核などの恐れもあります）。また、これまでの患者さんの中には肝炎キャリアの方の存在も報告されていますが、患者さんは施術者が変わるたびにその事実を報告してくれるとは限りません。その点、こういった情報がカルテにより申し送りされていくことで、私たち治療家の安全も確保されます。

なお、流派によって異なるような表記は省き、一般的・具体的な症状を短く明記します。ある期間、数名の施術者を経ても症状が改善されておらず、むしろ長期的に悪化しているような場合、すぐに保健師または担当部署へ報告できるようにしましょう。

2011/05/06

災害鍼灸マッサージプロジェクト